

立山・剣岳の花シリーズ タイトル 「チングルマの歌」

	<p>立山では、梅雨明けの7月に一斉に「チングルマ」が咲き始めます。しかし雪解けの遅い、ここ雷鳥沢では咲くのは7月下旬となります。</p>		<p>弥陀ヶ原では、6月から「チングルマ」が咲いています。夏の訪れを感じさせる。まさに立山では最もなじみの深い「花」と言えるでしょう。</p>
	<p>元気よく咲いている「チングルマ花」、これが木だとは信じられませんね。そうですチングルマは草ではありません、「木」なのです。この花の木でも「樹齢10年以上」になります。</p>		<p>剣岳の裏、「池の平山」のお花畑では、斜面全体に「チングルマ」が咲き誇っています。「剣岳のチンネとチングルマ」がすばらしい写真になりました。</p>
	<p>ふと、目をやると、後立山連峰のすばらしい景観がありました。やはり、チングルマは絵になりますね。</p>		<p>雪解けの「奥大日岳」の稜線にチングルマがありました。大日岳の稜線のお花畑は本当にお花がきれいでなんですよ</p>
	<p>まだらな残雪をシルエットに、チングルマを撮影すると、幻想の世界に浸ることが出来ます。</p>		<p>チングルマは「東北。北海道」ではそれはそれはすばらしい群生があるそうですが・・・山形・月山の「チングルマ」もやはり愛らしい「チングルマ」でした</p>
	<p>月山のチングルマです。・・・しかし、あまりどこの「チングルマ」もかわらないですね。</p>		<p>早月尾根のチングルマです。</p>
	<p>剣岳の長次郎の谷から、「チングルマと後立山連峰」</p>		<p>「チングルマ」の由来は「稚児車」だそうですが、ほとんど人がこの写真が「チングルマ」だとは思わないと思いますので紹介します。</p>
	<p>「稚児車」が由来。風に耐えながら「タンポポの実」のようにたゆたうように流れる様は、風に向かって回る「風車」のように自然の強さを感じさせます。</p>		<p>雪解けの遅い、風の強い稜線でのみ、このような美しい「チングルマ」が見られます。」</p>

	<p>9月になると、もう「チングルマ」も終わり。「剣岳北方稜線」の「赤谷山」のチングルマは、想像以上にきれいでした。自分の大好きな写真です。</p>		<p>これぞ、「稚児車」という写真です。まさに、風車ですね。ちょっぴり「紅葉」になって、あまりお目にかからない写真になりました。</p>
	<p>雷鳥沢の川面がきらきらと輝いています。</p>		<p>いよいよ、紅葉の季節になりました。奥大日岳では、チングルマの紅葉真っ盛りです。いつもは勇壮な「剣岳」が優しく見えます。</p>
	<p>なんと幻想的な写真でしょう。剣岳を背景にチングルマを撮影しました。チングルマの紅葉と合わせ・・・本当に贅沢なシャッターチャンスになりました。</p>		<p>咲き誇る・・・「チングルマの実」</p>
	<p>一般のルートでも最も多く見られるのが、このような写真です。私も、つい最近まで、これが「チングルマ」だと思っていたのです</p>		<p>アット思わせるような、チングルマの紅葉の写真です。霧雨が降っていた「奥大日岳」での偶然の写真です。すぐにみぞれになり、あっというまに「チングルマ」は冬化粧。</p>
	<p>淡いピンクのチングルマの実に水滴が・・・ 二度と会えない瞬間でしょう・・・</p>		<p>チングルマも最後の季節になりました。 立山。室堂では、霜が降りるシーズンになりました。晩秋の立山は、もう冬の気配を感じさせます。</p>
	<p>厳しい寒さ朝の寒さでも、柔らかな「7色の光」を浴びる日は、しばし小春日和・・・ 今日は穏やかな登山が楽しめそうだ。</p>		